TACHIBANA INTERNATIONAL
Address BLK11 LEEDON HEIGHTS #05-32
D'LEEDON SINGAPORE 267955

2021 年 4 月 22 日

株式会社立花商店　生田　渉

（新）週刊カカオニュース 42 号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。
今週のカカオニュースを配信させて頂きます。

1. 【弊社新商品のご案内】　Cabosse Naturals　カカオフルーツ製品

この度、弊社にて正規輸入代理店として取り扱いを開始したしましたカカオフルーツ商品のご紹介をさせて頂きます。

➢ ブランド名）Cabosse Naturals（カボスナチュラルズ）とは？

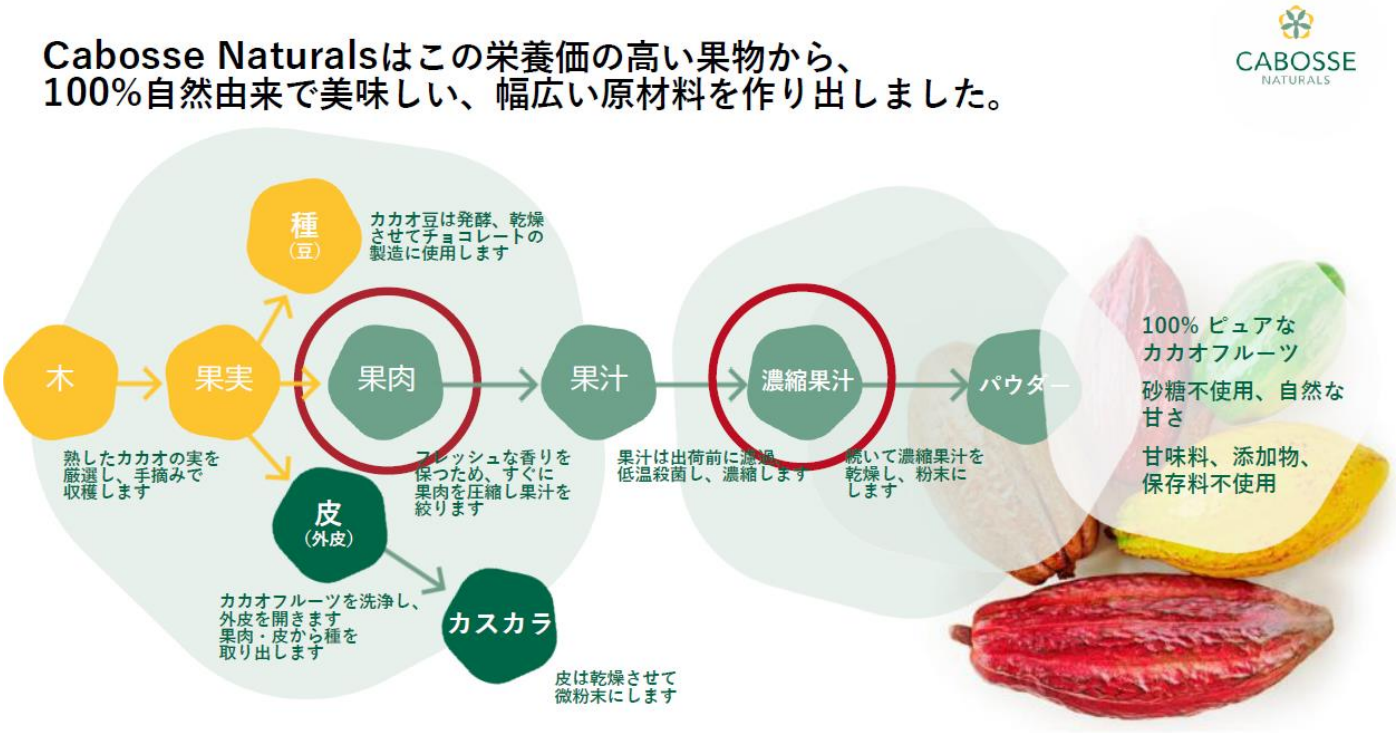
カカオフルーツ全体を活用して製品を作り出すことに挑戦している画期的なブランドです。現在は、世界第最大のチョコレート企業グループであるバリーカレボー社のグループ企業として、カカオフルーツがどのように健康、持続可能性、味の要求に対処できるかを世界に発信しています。

➢ カカオフルーツとは？

カカオはもともと、熱帯のフルーツです。フルーツの中には、種（豆）や果肉（パルプ）、皮（外皮）などが存在します。今まではチョコレートの原料となる種（豆）の部分を使うことがほとんどで、残りの部分は注目されてきませんでした。中でも、カカオの果肉は一部がチョコレートを作る際のカカオ豆の発酵プロセスに利用されてきましたが、単体で活用する試みは今までにほとんどありませんでした。しかし、独自のユニークでフルーティーな味わいを持っており、幅広いアプリケーションに対応可能な可能性にあふれた原料なのです。

➢ カカオフルーツ製品の良いところは？

添加物や保存料は一切使っておらず、100% 自然由来です。砂糖不使用でも自然な甘さを表現することができるため、健康面のサポートに役立ちます。また、通常チョコレートを作る際に単体では利用されてこなかった果肉を有効活用することで、食品廃棄率をぐっと抑えることができます。さらには、新鮮なカカオフルーツを使用するからこそ感じられる、今までにはない独特のフルーティーさを楽しんでいただけます。



今回弊社からは、①カカオの果肉（パルプ）と②カカオ濃縮果汁の２つをご案内させて頂きます。

① カカオ果肉（パルプ）

荷姿：18kg/ペール缶 OR 500ｇパック

用途：飲料（スムージー）、ゼリー、アイスクリーム

②カカオ濃縮果汁

荷姿：23 kg/ペール缶 OR 500g パック

用途：飲料、シャーベット、乳製品、菓子

また、現在カカオパルプパウダーを開発中で、夏前には販売用商品をご紹介できると思います。

上記商品へのご関心やご質問等ございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせください。

お問い合わせ先：株式会社　立花商店　生田　w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*上記写真は BARRY CALLEBAUT 公式 HP より引用

https://www.barry-callebaut.com/en/manufacturers/cabosse-naturals/cacaofruit-cascara

2. COCOBOD、アフリカ域内貿易の機会を活用するよう、加工業者やチョコ業者に呼びかけ(4/22)

ガーナ・ココア・ボード（COCOBOD）の最高責任者である Hon Joseph Boahen Aidoo 氏（以下、アイドゥ氏）は、ガーナ経済の屋台骨であるココア部門を維持するために、アフリカ大陸自由貿易協定（AfCFTA）によ

って促進されるアフリカでの貿易機会を活用するよう、地元のココア加工業者やチョコレート製造業者に呼びかけました。

アクラで開催されたカカオ加工業者、製造業者、チョコレート職人、その他の主要なステークホルダーとの交流会で、アイドゥ氏は、COCOBOD が AfCFTA に大きな市場の可能性を見出し、アフリカでのガーナ産カカオ製品の消費を促進するため、AfCFTA 事務局や地元のカカオ加工業者と連携する委員会を設立したことを参加者に伝えました。

アイドゥ氏によると、世界第 1 位の高品質カカオ生産国であり、生産量では第 2 位であるにもかかわらず、現地での付加価値が比較的低いため、ガーナはこの貴重な商品から十分な利益を得られていないといいます。この委員会は、AfCFTA 協定が実現しようとしている統合市場と関税引き下げ制度を活用するために、加工業者、地元のチョコレート業者、業界関係者の連絡役として設立されたと述べています。「一人当たりの消費量は 0.6kg まで増加しましたが、一人当たりの消費量を 1kg 以上にするという目標の達成にはまだ遠い道のりです」と述べました。

同長官は、加工カカオの世界市場は巨大であるとした上で、AfCFTA には、ステークホルダーがその可能性に立ち向かえば、アフリカ域内貿易を現在の 15%から 52%まで強化・成長させる可能性があると述べました。アイドゥ氏は、今回のフォーラムに参加したカカオ加工業者やチョコレートメーカーに対し、カカオ製品をあらゆるレベルのガーナ人が消費できるようにすることで、国のカカオ消費促進策を支援するとともに、化粧品や香辛料など他の最終製品へのさらなる多角化を目指すよう訴えました。さらに、加工業者やチョコレート職人には、雇用創出や収入増加、そして最終的には政府の「援助の枠を超えたガーナ」政策の実現に向けて、カカオ消費キャンペーンを推進するための提言を行うよう求めました。

＊写真は COCOBOD のホームページより引用

貿易産業省の多国間・地域間・二国間貿易技術顧問であるAnthony K. Nyame-Baafi氏は、関係者がガーナ産カカオ製品の既存市場を強化・拡大する必要性を強調しました。また、エジプト、ケニア、南アフリカなど、北、東、南アフリカの国々で市場機会を探ることが有益であると述べました。また、同氏は「ガーナ産カカオ製品の需要拡大のためには、ガーナの企業に市場動向に関するタイムリーで正確な情報を提供する必要があり、同省はその促進に尽力しています」と抱負を述べた。

ガーナ・カカオ付加価値職人協会（COVAAG）を代表して発言したDela Austin氏は、COCOBODの経営陣に対し、小規模な職人やメーカーがココア豆やその他のココア関連原材料を容易かつ安価に入手できるようにして、国内市場に供給することを訴えました。オースティン氏は、地元のチョコレート職人が製品に付加価値をつけることで市場機会を獲得することを業界関係者に約束し、チョコレート職人が製品を販売するためのプラットフォームとなるような貿易展示会の場を定期的に提供することを要望しました。同氏は、協会が直面しているいくつかの課題を取り上げ、COCOBOD経営陣はこれに対処することを約束しました。

参加者は、政府に対し、ココアとその関連製品に課せられている莫大な税金を見直し、この分野の起業家が成功しやすい環境を整えるよう訴えました。

COCOBOD AfCFTAココア消費委員会の委員長であるEdward Amporful博士は、ガーナ産カカオのガーナ国外での消費を促進するという共通の目的を達成するために、同委員会が関連するステークホルダーと緊密に協力していくことを、参加者、特に加工業者やチョコレート職人に約束しました。

3. ナイジェリアのココア生産、ハイブリッドの供給不足で停滞（4/24）

約10年前にナイジェリアで発売された8品種のハイブリッド・カカオのさやが農家に十分に供給されていないことが、西アフリカの国でのカカオ生産量を増加させる努力の妨げになっていると、当局者と農家が金曜日に述べた。

この8品種は、ナイジェリア国営のココア研究所の科学者によって開発され、2011年9月に発表されたもので、ナイジェリアのココア生産量を2022年までに100万トンに引き上げるのに役立つとして紹介されました。しかし、ナイジェリアの業界団体によると、現在、1シーズンのカカオ生産量は約28万～30万トン。

「ナイジェリアのカカオ生産量を増やすためにCRINから十分な量の新カカオを供給してもらうことは、過去数年、そして2021年も不可能でした」と語るのは、南西部オヨ州の州都イバダン近郊のイディ・アユンレ村で農業を営むジモ・オソラレ氏。彼によると、新しいカカオの苗木は、古い農場を修復する為にも、また新しい農場を作る為にも必要だという。オソラレ氏は、新品種のさやをカカオの苗に育てて植えると、数年後には数個のさやができて生産量が増えるはずだが、「農家はCRINによる新カカオの苗木の供給が不十分であることに不満を感じている」と述べた。
＊CRINは、Cocoa Research Institute of Nigeria（ナイジェリアカカオ研究所)のこと。

8つの新品種は、現在の古い品種が1ヘクタールあたりの収量が0.5トンであるのに対し、平均で1.5トン～2.0トンと高収量。さらに、既存の旧品種が3～4年で成熟するのに対し、新品種は2年で成熟する早生品種であり、病害虫、特に黒サヤ病やミリッドバグに耐性があるとのこと。

CRINによると、新しいハイブリッド・カカオの木は、植え付けから4年目に完全に成長した場合、1年あたり最低100～150個の成熟したポッドを持つことが期待されていました。

オヨ市にあるナイジェリア・ココア農家協会の幹事であるアキンロル・オモニイ氏は、「農家には、植え付けに必要な新品種のさやが十分に供給されていない」と語った。
「この問題は来週行われるオヨ州のココア農家の会合で議論される予定です」と述べています。

ナイジェリア最大のカカオ生産地である南西地域のいくつかの州では、CRIN の品種から苗を生産するカカオ苗木センターを設置していますが、その生産量はまだ不十分であると関係者は述べています。
CRIN の幹部は、資金不足が新種のカカオを十分に生産するための研究所の努力を妨げていると述べ、政府が十分な資金を提供すれば、国内の 14 のカカオ生産州における新種のカカオに対する膨大な需要を満たすことができると強調した。

4. ナイジェリア、3 月のココア輸出量が前年同月比で 2 倍以上に（4/23）

ナイジェリアの商業ハブであるラゴスの港の検査機関や海運会社がまとめたデータによると、3 月のナイジェリアからのカカオ豆の輸出量は 21,427.84 トンで、前年同月の 9,424 トンに比べて 2 倍以上と大幅に増加しました。

- 3 月の輸出量は、2 月に港で滞留していた豆を輸出業者が移動させたことにより、前月比 93%増となりました（ココア輸出会社 Woodgate Ltd のマネージングディレクター、Segun Oluwaji 氏談）。
- 「これらの豆はメインクロップのカカオ豆で、港での制約がなければこの 3 ヶ月で出荷されるはずだった」と Oluwaji は言う。
- 輸出先ではヨーロッパが全体の 57%にあたる 12,304 トンが出荷され、中でもドイツが最も多く出荷されました。その他の国では、オランダ、トルコ、スペイン、イタリアが出荷されています。また、インドネシア、インド、中国、米国、カナダでも出荷があった。
- ココアバターの 3 月の出荷量は 408 トンで、前年同月比で 2 倍以上となりました。前月比では 11.3%減。フランス、米国、オランダが主な出荷先となりました。

5. マレーシア、統合農法でカカオ栽培面積の拡大を計画（4/22）

Khairuddin Aman Razali 大臣によると、マレーシアのプランテーション産業・コモディティ省は、州政府、農家機関、プランテーション会社と協力して、国内のカカオ栽培面積を拡大することを検討している。

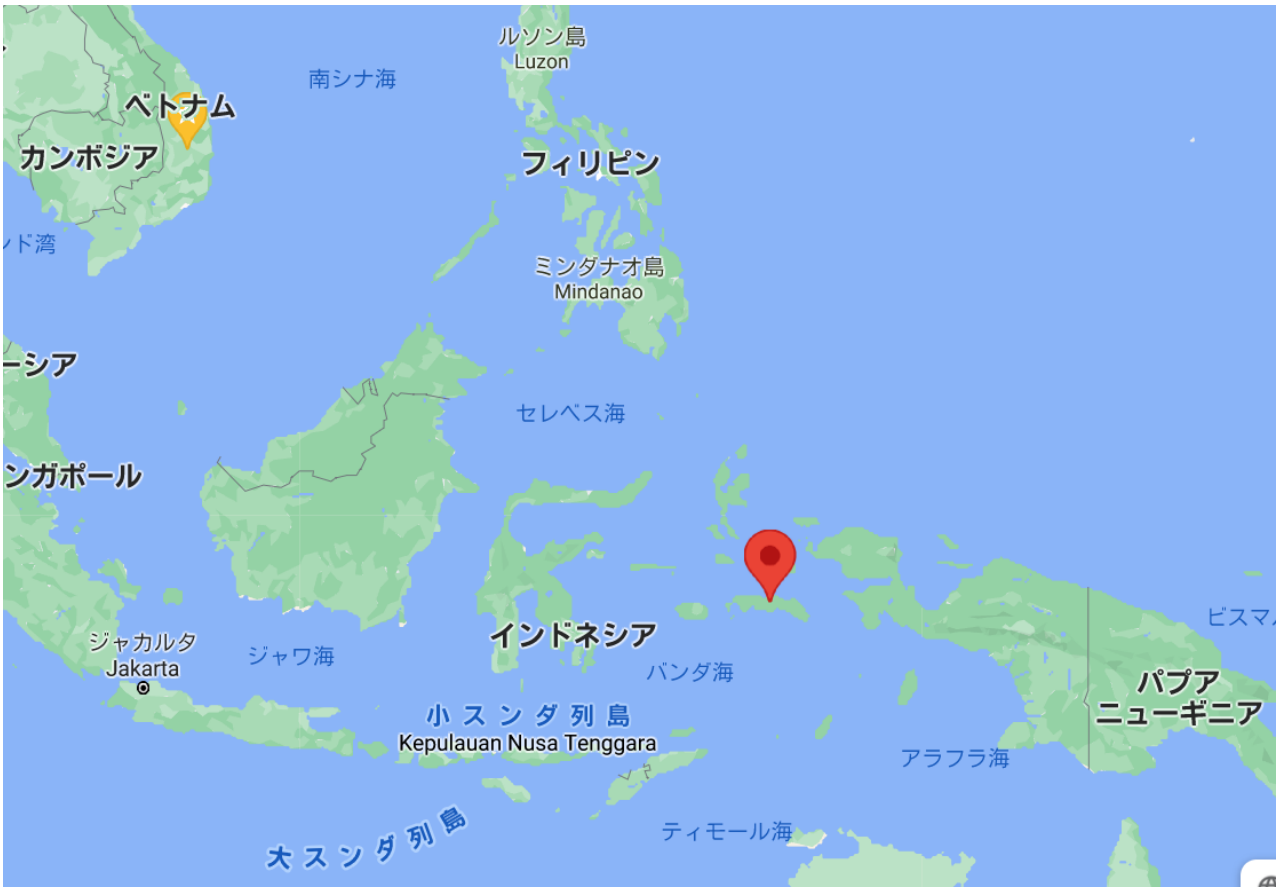
- Khairuddin 大臣は木曜日の声明で、プランテーション会社が統合農法によるカカオ栽培に再び投資を開始することを促すための「ミニ農園」などの取り組みを行っていると述べた。このコンセプトは、現在は小さな生産者に支配されている業界の状況を変えるためのモデルとなると予測。
- 現在の同国のカカオの総面積は約 5,897 ヘクタールで、栽培面積を増やすためには様々な関係者との協力が必要である。
- 総務省は、カカオ産業を経済的に大きな貢献をする産業にすることを目指しています。
- その他の方法としては、ペラック州やパハン州の先住民族とのカカオ作物の植林プロジェクトなどがある。
- マレーシア・ココア・ボードは木曜日、バガン・ダトゥクの農民組合およびマレーシア・パハン大学と、28.3 ヘクタールのカカオおよびココナッツの植林を統合するための覚書を締結しました。
- ココア・ボードは、ココア・エキスの研究と、AI を使ってココア・ポッドの検査を改善する「e-nose センサー」技術の開発に関する別の協定に署名しました。

6. オーラム、モンデリーズと共同でインドネシアの持続可能なカカオ農園を開発（4/22）

オーラム・インターナショナル社は、その完全子会社であるオーラム・フード・イングリディエンツ社を通じて、モンデリーズ・インターナショナル（Kraft Foods North America and Asia を通じて活動）とジョイントベンチャーを立ち上げ、インドネシアの Aztec Agri 社の 50%の株式を 1,080 万米ドル(約 11 億円)で引き受け、インドネシアに持続可能な商業用カカオ農園を開発する。

セラム島の 2,000 ヘクタールに及ぶこの農園は、世界最大の持続可能なカカオ農園になることを、Olam は水曜日に発表した。ここは以前、森林伐採された荒地で、この土地には、生物多様性と二酸化炭素の吸収を促進するために、カカオ、日陰の木、森林、果樹が植えられます。また、この農場では、スマートテクノロジー、畑のセンサー、灌漑システムを使用する。

≪インドネシア・セラム島の位置関係≫



オーラム社は、「このモデルは、最良のカカオ栽培、最適な土地利用、農村計画のための近代化された専門的な青写真をテストするものであり、この地域で再現可能なモデルとして検討されます」と述べる。また、保護価値の高い森林として認識されている 47 ヘクタールのエリアも完全に保護される。

このパートナーシップは、世界第 2 位のココア原料消費地となる予定のアジアにおけるココア需要の増加に対応するためのものだと、同社は述べています。また、このプロジェクトは、地域住民に 700 の雇用を創出し、そのうち約半数は女性が占めることになるという。

オーラム・フード・イングリディエンツ社のジェラルド・マンリー最高経営責任者（CEO）は、「このプロジェクトは、インドネシアとその先のカカオの未来にとって、まさにゲームチェンジャーになるかもしれません」と述べています。

7. 世界銀行発表の 2021－2022 コモデティ価格予想

以下は、4 月に発行された「商品市場展望」に掲載されている、特定の商品に関する世界銀行の価格予測です。価格は名目米ドルである。＊カカオは下記の黄色部分

		2021 予測値			2022 予測値		
農作物	Measure	April	Oct.	Change	April	Oct.	Change
Cocoa	$/kg	2.40	2.44	−1.6%	2.43	2.48	−2.0%
Coffee, Arabica	$/kg	3.50	3.35	4.5%	3.55	3.36	5.7%
Coffee, Robusta	$/kg	1.60	1.54	3.9%	1.63	1.59	2.5%
Coconut oil	$/mt	1,400	937	49.4%	1,420	944	50.4%
Palm oil	$/mt	975	723	34.9%	983	736	33.6%
Soybean meal	$/mt	500	376	33.0%	503	381	32.0%
Soybean oil	$/mt	1,025	828	23.8%	1,037	840	23.5%
Soybeans	$/mt	550	400	37.5%	555	410	35.4%
Barley	$/mt	98	97	1.0%	101	103	−1.9%
Corn	$/mt	210	160	31.3%	212	165	28.5%
Rice, Thailand	$/mt	510	498	2.4%	512	496	3.2%
Wheat, US, HRW	$/mt	230	207	11.1%	233	210	11.0%
Meat, beef	$/kg	4.60	4.71	−2.3%	4.63	4.72	−1.9%
Meat, chicken	$/kg	1.80	1.64	9.8%	1.82	1.69	7.7%
Oranges	$/kg	0.60	0.62	−3.2%	0.61	0.64	−4.7%
Sugar, World	$/kg	0.34	0.29	17.2%	0.35	0.30	16.7%
Cotton	$/kg	1.95	1.60	21.9%	1.97	1.65	19.4%
Tobacco	$/mt	4,350	4,529	−4.0%	4,367	4,558	−4.2%

SOURCE: The World Bank

8. ファンド勢の NY カカオ先物は、純買い越しポジションが減少(4/24)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買いポジションを 1,228 ロット減らして、14,686 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで（今週で言えば、4 月 20 日まで）の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は 4 月 20 日までで、前週より 1,235 減少して、38,562 ロットとなった。
- 買いポジションの総数は、過去 5 か月で最も低い数字。
- 売りポジションの総量は 4 月 20 日までで、前週より 7 ロット減少して、23,876 ロットとなった。。売りポジションの総数は過去 4 週で一番少ない数字。

9.　ファンド勢のロンドンカカオ先物は純売り越しポジションへ転じる（4/24）

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、売りポジションの総量が、買いポジションの総量を 3,111 ロット上回り、純売り越しポジションとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、4 月 20 日）の取引が含まれている。

- 先週の段階では、純買いポジションが 7,534 ロットとなっていた。（＝買い総数－売り総数）
- 純売りポジションは過去 8 か月で最も弱気の数字。
- 買いポジションの総量は 4 月 20 日までで、前週より 5,784 ロット減って、12,652 ロットとなり、最近 8 か月で最も低い数量。
- 売りポジションの総量は 4 月 20 日までで、前週より 4,681 ロット増加して、15,763 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は過去 8 か月で最も多い数字。

10. 新商品情報①：片岡物産「バンホーテンのプロテイン　ココア」

片岡物産は、ココアブランド「バンホーテン」から「バンホーテンのプロテイン ココア(5 本入)」を全国のスーパーなどで発売した。

「バンホーテンのプロテイン ココア」は、乳由来の WPC(濃縮乳清タンパク質)プロテインに、「バンホーテン ピュア ココア」を約 50%配合し、1 杯でたんぱく質 5.0g、食物繊維 1.5g を摂取することができる。プロテイン特有の臭みがなく、ココアのおいしさを味わえるという。1 本ずつ個包装のスティックタイプで、冷たい牛乳にも溶ける。内容量 10.2g×5 本、税込 324 円。

上記写真及び情報ソース：https://www.ssnp.co.jp/news/beverage/2021/04/2021-0409-1517-15.html

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については，下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社　立花商店　生田　w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

＊本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようにお願い致します。